

礼 拝 順 序

		司会	
		奏楽	
前 奏			
招 詞	詩編 100:1-2		
讃 美 歌	157		
読 詩 編	28:1-9		
讃 美 歌	16		
聖 書	旧約 詩編 33:12-22 (p. 864 or 998) 新約 ヘブライ 4:12-16 (p. 405 or 469)		
祈 禱			
讃 美 歌	394		
説 教	恵みの座に近づく	秋吉隆雄牧師	
祈 禱			
讃 美 歌	431		
奉 献	(献金・祈禱)		
主の祈り	93-5-A		
頌 栄	28		
祝 禱			
後 奏			
報 告			

◇次週礼拝◇
説教 キリストとの出会い

聖書 マタイ 6:25-34
讃美歌 157 16 357 522 28
交読詩編 28:1-9

◇本日の集会◇
求道者会 礼拝後 於 談話室
初めて教会に見えた方、求道者
(洗礼を受けておられない方)は
お集まりください。

教会学校教師会

◇今週の集会◇
教会学校夏期キャンプ
於 逗子「相洋閣」
22日(土) - 24日(月)

◇報告とお願い◇
教会学校では 8 月を「平和月間」として「平和」について教会員が下記のように説教してくださっています。教会学校礼拝にもご出席ください。

パプアニューギニアの津波被害
支援募金にご協力ください。

ります。

◇今週の誕生者◇
酒巻 律子姉(8月16日)
高橋 タマ姉(8月22日)

◇集会報告◇

	男	女	計	
教会学校子供	8/9	8	17	25
大人	8/9	7	13	20
主日礼拝	8/9	29	51	80

◇牧師室より◇

日本が戦争に負けて 53 年目になる。日本の経済的低迷がアジアの経済を圧迫しているという報道が圧倒的である。しかし一方で、従軍慰安婦(性奴隷)問題を始め、種々の戦争責任が法廷に持ち出されている。ドイツのコール首相が「日本はアジアに友人を持っていない」と言ったように、戦後保障を怠ったツケが延々と問われ続けている。

昨年母が、結婚して十数年過ご

月 日	司会	奏楽	礼拝	受 付、	献 金	配 餐	ビデオ
8/16 (日)							
8/23 (日)							
8/21 (金)	掃						
8/29 (土)	除	壮年会 (午後5時) 掃除後 壮年会例会					

した中国の「大連」に行ってみたくてと言いだした。私も5歳くらいまでいたので、間取りや家並み、そしてアカシヤの香りなどを覚えている。しかし、母を連れて行くのなら、兄たちの方がよいと相談したが、健康に自信がないと断ってきた。私が連れて行きたかったが、どうしても抵抗があった。次男の父は職を求めて「大連」に渡った。下積みの生活から「満鉄」に入り、ようやく人並みの暮らしをしていた。日本軍のように中国人を虐待したわけではない。父に連れられて中国人の家で「天ぷら」を食べた記憶もある。しかし、中国人から見れば、占領支配する国の幸せな家族であることに間違いない。その私たちが「昔懐かしくやって来ました」とはとて言えない。

日本が占領した国で、個人的にどんなに良いことをしたとしても、彼らは決して快く思っていない。当然である。軍靴で踏みにじり、それに乗っかっての善意は「免罪符」にはなり得ない。

忘れられないことは、日本人住宅のごみ箱をあさっていた中国人女性が、私に石を投げ、その

石が頭に当たり出血のケガをしたことである。彼女にとって私は幼児でも「につつき日本人」だったのである。そして、無力な幼児だから標的にしたのである。アジア人と付き合う時、相手が仮に「それは過去のことで」と言われても、理不尽に占領していた事実だけは踏まえていなければならない。

しかし、だからといって「卑屈、自虐的」になることはない。牧師になりたての頃、在日韓国人から「先生は何も知らない。これらの本を読みなさい」と奨められ、初めて日本と朝鮮の悲劇的な近代史、そして在日朝鮮・韓国人の二重に屈折した状況を知らされた。以来、彼らと付き合う時、何か背をかがめ申し訳ないという思いから抜けられなかった。ところが、青年会員と韓国旅行に行き、少しではあるが日本と韓国の歴史のリアリティーに触れた。その時、「ああ、もう背をかがめず、対等でいこう」と吹っ切れた。もちろん、責任がないと言うのではない。胸を張って対等に、そして私にできることを精いっぱいする。それが私の解放になった。

週 報

1998年8月16日 聖霊降臨節第12主日

巻 19

20号

1998年度 教会主題

「恵みの座に近づこう」

聖句 だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか。

ヘブライ人への手紙 4章16節

- 目標 1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
2. 一人が一人を伝道する。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

横浜市港南区港南台7丁目8-29

郵便番号 234-0054

電話 045-833-5323

F A X 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋吉隆雄